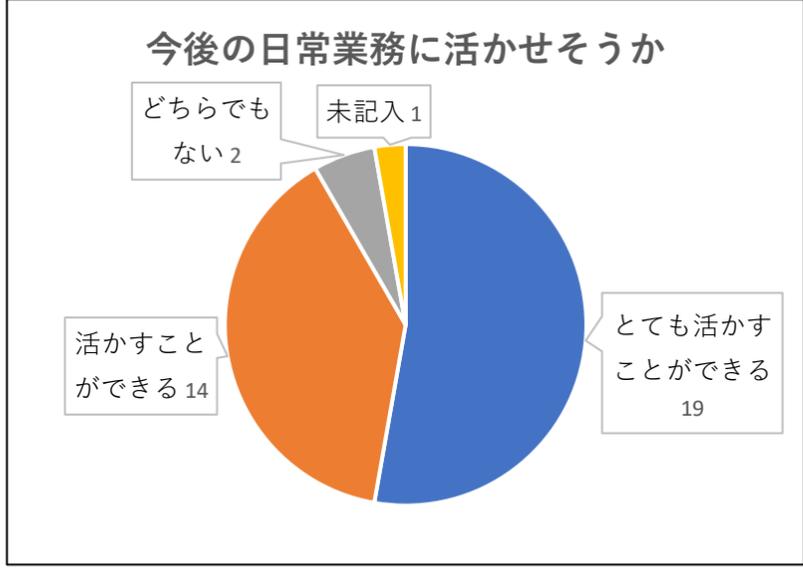
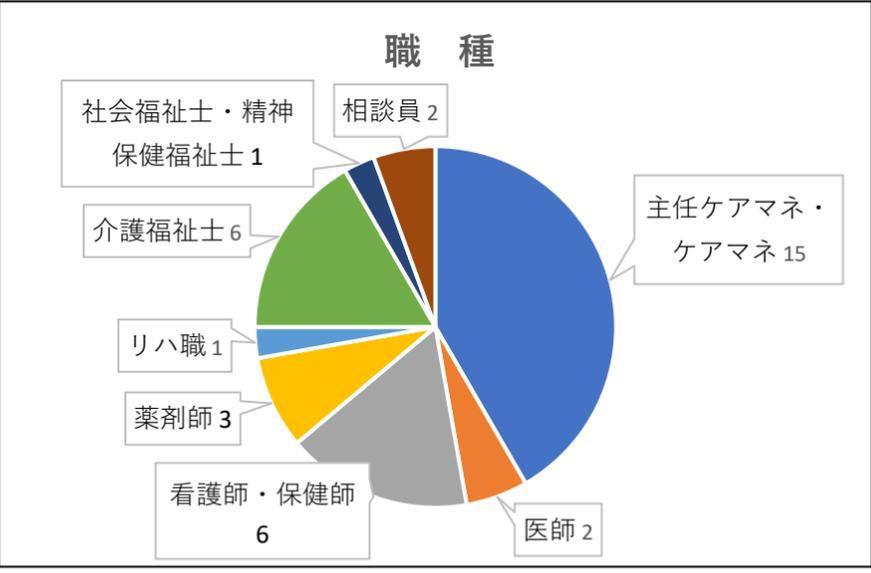
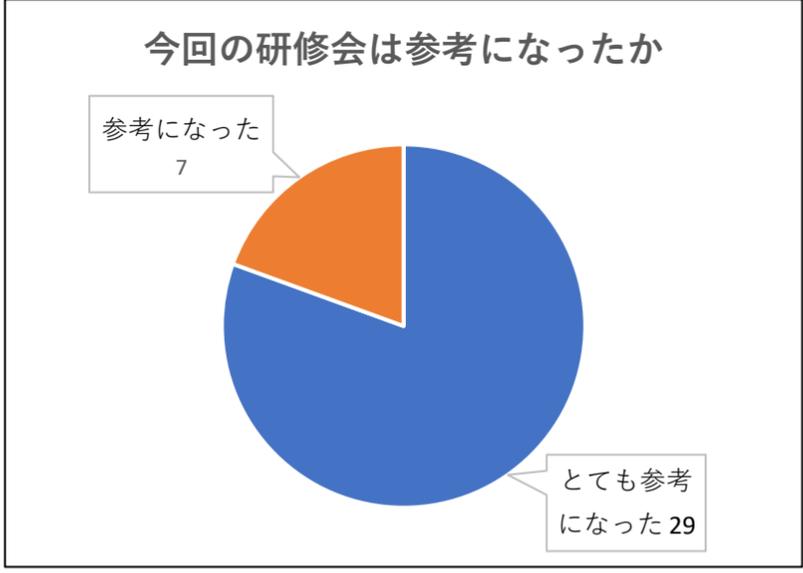
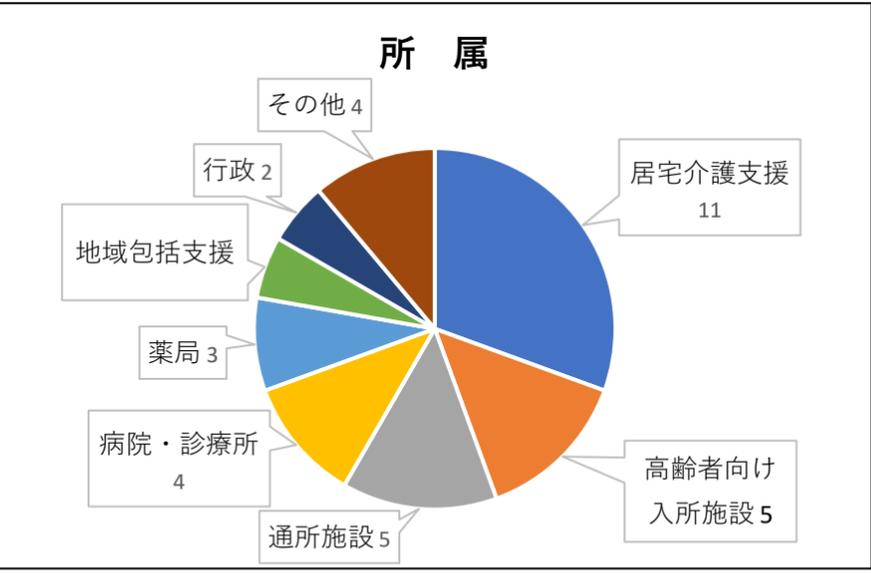
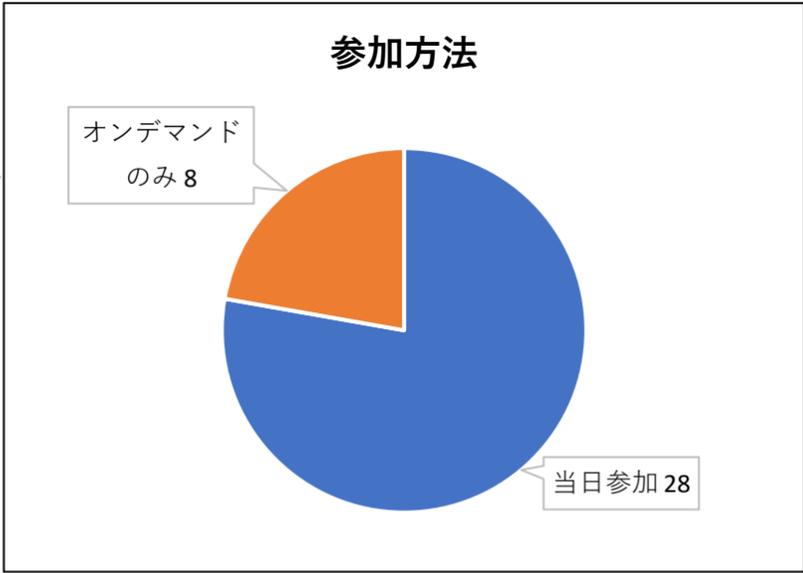


令和7年度 認知症ステップアップ研修会 アンケートまとめ

テーマ:家族の声に、耳を澄ます。

—若年性認知症(前頭側頭型)支援の本質をもう一度考える—
 認知症をめぐるトピックス あずま通りCL 小林直人先生
 家族の語り～診断までの経過、現在の生活と思い 新関英子 氏
 ファシリテーター 認知症家族の会 佐藤和子 氏

当日参加:39名
 オンデマンド視聴回数:85回(回線数:45)
 アンケート回答者:36名



今回の研修会が参考になったと回答した理由

- フォーマルなサービスを中心に考えていましたが、インフォーマルなサービスが大切。知ること、共感することが大切であることが分かった。
- 家族の思いにふれ、完成を磨き続けられるよう環境づくりを推進したい。
- 制度の知識や、家族会などの情報を知る事が出来、当事者家族の方の現状と気持ちを理解する機会となりました。
- 参考になり研修の際、伝える事が出来るかと思えます。
- 当施設の入所者にはほぼいないと思われるけど、その症状を部分的にも持っている人には会えることがありそうです。
- 本人、その家族のみならず、広い視野と家族のフォローが出来るようにするべきと感じました。
- ケアマネとして繋げていくことが大事だと感じました。
- 「家族は解ってもらえないまま頑張っていることがある」というお言葉は若年性の方に限らず、家族介護者全てにあてはまると思えます。

老人性アルツハイマー型認知症の方に関わる事が多く、若年性認知症の方は関わったことがなかった。今後関わる機会があれば家族としての話を聞いたので参考に出来ればと思います。
場が必要だがまだその場を求めている方は、受け入れステージで立ち止まっている方なんだろうと思う。
実際に配偶者に若年性認知症を発症された実情を知る事が出来て家族の直面する問題について知る事が出来た。
家族の方が何を知りたいのか、何を求められているのか、実体験を聞いて理解を深めることが出来ました。あらためて自分に何が出来るか考えたいと思いました。
ケアマネとして繋げていくことが大事だと感じました。一人で何かしようとするのではなく、介護者同士を繋げることが大切という事が印象的でした。
ご家族同士のつながりが大切で、今後活かしていきたいです。
ケアマネの経験が少ないため今後の仕事に役立つと思いました。
当事者同士、家族同士、仲間づくりができる場、繋がれる場を考える機会となりました。関係機関の皆さんと連携しながら考えてみたいと思います。
前頭側頭型認知症とは最新情報として再学習ができた。家族目線の困りごとをリアルに知ることが出来た。
相談があった時に、家族の会等を紹介したり、サービスに繋がる前の支援を一緒に考える事が出来ると思う。
小林Drのルーチン療法など、前頭側頭のみならず、最近忘れがちだったケア療法を思い出すことが出来たため
直接当事者の方からお話を聞き、実際のリアルを感じる事ができ参考になりました。仲間に繋げてほしい、「場」をつくる、「つながり」をつくる、とても印象的でした。
レアなケースの資源と情報が少ないが、今回そのニーズを知ることができた
意味性認知症など知らなかった情報を知ることができたことや、若年性認知症の方を支える家族の方の心情をしっかりと聞くことができ、今後の関わり方に活かすことができそうだと感じた。
FTDに関する治療について、知識として活かすことができると感じた。 実際の支援では、個々の性格により変化もあるためその時々への対応力が求められると思う。
まさにいま、担当しているケースの方の先をいくお話しが聞けたのでありがたく思いました
前頭側頭型認知症のケースに関わったことがなく、貴重な家族の声を聴くことができ、大変参考になった。また小林Dr.の事前説明も理解を深めるのに役立った。
実際に介護に直面している家族の想いや願いを担当のケアマネとしてではない観点から話を伺えたこと。自分自身のマネジメントの振り返りが出来た。
自分自身の生活上はまだ経験がないことで、つなぐことが大事で、伴走の気持ちが大事だと、気づきがあったため。
家族と家族の会の方の話で、表面的ではない話が、聞けたので、相談を受けたら家族の会を紹介してみようと思った。
利用者様のご家族の声
利用者様に寄り添う姿勢の参考になった
介護者同士をつなげることが介護者の負担軽減になるとのお話あり。その場を提供することができるかもしれないと思いました。
現職場では若年性認知症の方のご利用がないから

全体の感想等

前頭側頭型認知症の理解、啓蒙、啓発の大切さ、そして病気が分かってからのフォロー
時間配分が的確で、20時終了するなど運営が適切だった。内容が簡潔に整理されていたのでとても良かった。
新関さんの実際的な話がとても参考になりました。
家族の生の声の最期のことが「介護ではなく伴走者なんだ！」と言われたことに心奪われました。
経験者の話に、教科書では知りえない生々しさ、深さがありました。
実際介護されている方の貴重な話を聞いて良かったです。
多様な状況に対応出来る窓口が出来るといいと思いました。
教科書には載っていないご家族の生の声を聴くことが出来、自分のできる事は何かを考える機会を頂きました。ありがとうございました。
家族の生の声を聞け、大変苦勞をされているのだと実感しました。

<p>新聞さんからの話が、具体的で良かった。</p>
<p>若年性認知症の患者さんご家族の支援体制にはまだ、難題が多く、自分にも理解が不足していることが分かった。</p>
<p>介護者を仲間につなぐこと大事にしたいと思います。前頭側頭型認知症の分類を詳しく学びました。</p>
<p>とても勉強になりました。</p>
<p>家族の不安や思いが直接聞けたのでとても印象に残りました。</p>
<p>貴重なお話をお伺いさせていただき、ありがとうございました。行政としてご家族のお話を聞く事はあまりないので、行政としても仲間づくり、繋がれる場の醸成を考えて行ければと思いました。</p>
<p>家族の心構えが壮絶(怒りスイッチを押さないように…等) 支援の不足の実際、居るのに失った家族(これからの人生を相談できる人がいなくなってしまった) 本人だけではなく、家族の孤立予防の重要性、共感だけではなく、役割承認も必要。正解提示よりも「一緒に試して修正」を家族と一緒にやる事が大切なのかな?と感じた。 同じ苦勞をしている人同志で話をしたい。でもどこにその場があるのか分からない。「そこへつなぐ」が欲しいに私たちの調査力も資源であることに気付かされた。</p>
<p>「介護者」ではなく、「伴走者」であるという言葉が心に響きました。専門職故に介護に結び付けてしまいがちですが、家族にも本人にも寄り添った支援をしていきたいと思います。若年性認知症の家族は就労中である事が多く、平日の繋がりの場に参加する事は難しいと感じます。自分もいつ発症するかわかりません。独居の若年性認知症の方はどのように生活しているのか心配です。</p>
<p>新聞さんのお話がとても心を打たれた。定期的にこのような研修は必要だと思いました。</p>
<p>認知症の基礎知識もあり勉強になりました。制度ももちろんですが、認知症ご本人や家族と一緒に悩んだら考えたりすることが大切だと改めて感じました。</p>
<p>またまた 前頭側頭型認知症についての理解を周知していく必要がある</p>
<p>つなげる大切さを再認識させて頂きました。</p>
<p>家族として葛藤や不安など、リアルな意見を窺うことができ今後支援するケースに関してとても貴重な意見であると感じた。家族の想いに寄り添った支援、本人の希望を大切にすることの大事さを痛感した。今後関わらせていただく方へ新聞さんの話した伴奏者の一員として自分も参加できればと思った。</p>
<p>FTD特有の症状、かつ若年ゆえの課題・悩みが、非常に伝わってきた。また現行制度やサービスが、いかに実状に追いついていないかを痛感した。</p>
<p>繋がる「場」を作ってほしい。福島は認知症に弱い。との話があり、なんとかしていきたいと思いました。まずは、自分で出来ることを見つけて、取り組んでいきます。</p>
<p>同じ境遇にある人が、一番の相談相手だと感じた。新聞さんと佐藤さんのお話は、涙がでました。</p>
<p>経験談を聴かせていただく貴重な機会となりました。ケアマネとしてサービスを繋ぐ、人と人を繋ぐことができるように日々経験を積み重ねていきたいです。ありがとうございました。</p>
<p>若年性認知症の方と関わるのが少ないので、とても勉強になりました。</p>
<p>診断か出てから、では、これからどのような状況が考えられ、どんな制度があり、どうすれば利用できるのか、などの道筋がしっかりわかるようになることが求められると強く感じた。また、これってもしかしたら若年性認知症かもと思えるよう、普段から疾患についての啓発も大切だと思った。</p>

今後学びたい研修内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーが一人で抱え込まないようにチーム支援のあり方 ・その人主体の支援を具体化するヒント ・もっと事業所や外来の方々参加率が上がりますように。
<p>若年性認知症の方の就労支援について、社会資源に何があるか具体的に知りたいです。</p>
<p>認知症の最新治療法などの情報があれば知りたいです(予防も)</p>
<p>若年性認知症含めた認知症患者さんへ提供できる支援の内容の評価</p>
<p>社会資源についてもっと勉強したいです。</p>
<p>行政(福島市)をもっと巻き込んで、更に認知症患者やその家族が安心して生活できるような仕組みづくりの意見交換が行えるような場があるとありがたい。</p>
<p>いつもありがとうございます。</p>
<p>地域のサービスの現状を知りたい(どんなところがあって、どんな対応をされていて、など)</p>